## 専任教員の教育・研究業績

所属 職名 本育学部	教授	氏名	伊原久美子			における研究 お当次校の右無 本	ī			
I 教育活動	<b>秋</b> 坂		伊原久天丁	指導担当資格の有無						
教育実践上の主		年月日 (期間)		概    要						
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)										
(学部) レジャー・レクリエーション I 、スポーツプログラム開発論、スポインターンシップB, キャンプ実習A、習、スキー実習、野外活動基礎実習	2009年4	月~現在	授業は、学生が主体的に学べる工夫を行い、いずれの授業も学内 平均よりも高い評価を得ている。							
(大学院) 冒険教育論特論、冒険教育	論特論演習	2014年4	月~現在							
2 作成した教科書、教材、参考書										
野外教育学研究法(共著)		2018年1	月10日	野外教育	育の研究法に関す	る著書を共著として出	出版した。			
大阪体育大学教員免許更新講習会テキ	スト	2021年1	1月30日	「レクリ	Jエーション・野	外活動」を担当。				
3 教育方法・教育実践に関する発 日本野外教育学会、日本キャンプミー ミーティング等		2009年4	月~現在	野外教育	育の教育実践に関	する発表を行った。				
第14回SMT指導士会関西支部研修会		2019年1	1月2日	「スポー	- ツ現場における		)講演を行った。			
全国YMCAウエルネス担当者研修会		2020年1	1月8日	「ウエバ	「スポーツ現場における冒険教育の可能性」の講演を行った。 「ウエルネス事業の有効性とは」」の講演を行った。					
4 その他教育活動上特記すべき事										
大阪体育大学社会貢献センター、熊取 における野外活動事業	、阪体育大学社会貢献センター、熊取町、地域スポーツクラブ等 上おける野外活動事業				野外活動を用いた教育事業の企画、運営					
和歌山県青少年育成協会の事業の企画	・実践	2013年4	月~現在	和歌山県の青少年を対象とした野外活動を用いたリーダー養成研 修会						
Ⅱ 研究活動										
著書 (単著)						T				
書名	著者		総頁数	発行所		発行地	発行年月			
Note that the same to be the										
著書(共著・分担執筆) 題目/書名	著者/編者		初(始)頁~終頁		発行所	発行地	発行年月			
超日/ 首石 4.5代表的な研究の解説/野外教育学研究法			132頁~143頁		完 元 1771	東京	平成30年1月			
大阪体育大学教員免許更新講習会テキ	ス大阪体育大学		153頁~161頁 大阪体 センタ		育大学教職支援	大阪	令和元年12月			
「 原著論文(審査機関を有する学術誌に	 掲載の論文に限る。学会抄鈴	録等は含&	     かない。)	629-						
題名					巻	初(始)頁~終頁	発行年月			
大学運動部に対するASEプログラムが身団凝集性に及ぼす影響ー新入生と在学の比較から-		子、他5名	キャンプ研究(研究論文	第21巻		15頁~30頁	平成30年2月			
大学女子バスケットボール部を対象と たAction Socialization Experiences ログラムが集団凝集性に及ぼす影響		おみ 髙	大阪体育大学紀要(実践論文)		第50巻	1頁~14頁	平成31年3月			
大阪府課程認定校レクリエーション交 大会参加学生におけるソーシャル・ス ルとソーシャル・サポー トに関する 究	キ ◎高山昌子,新野弘美,	玉井久	Leisure & Recreation (自由時間研究)		第44巻1号	64頁~72頁	令和元年10月			
レクリエーション活動を提供する学生 自己効力感とソーシャル・サポート 関する研究-自由記述の分析からみる 生の学びについて-	◎高山昌子,新野弘美,	玉井久	Leisure & Recreation (自由時間研究)		第45巻1号	12頁~25頁	令和2年10月			
Action Socialization Experienceを存験した参加者が得た気づきの抽出	©田渕洋勝、伊原久美子 宏斗	子、髙橋	野外教育研究 (研究資料)		第23巻第2号	15頁~25頁	令和2年3月			
保護者から見た子どもの組織キャンプ の参加と非参加の理由-大阪市I市での 例-	事 宏斗		大阪体育大学紀要 (資料論文)		第51巻	9頁~24頁	令和2年3月			
大学生キャンプカウンセラーの活動継 の動機に関する研究	続 ②今村樹、伊原久美子、 也	矢野達	大阪体育大学紀要(資料論文)		第52巻	47頁~59頁	令和3年3月			
	112		キャンプ研究(研究論文)							
大学生のキャンプ指導経験量がヒュー ンコミュニティ創成マインドに及ぼす 響	7		キャンプ研究(研究論文	)	第25巻	25頁~34頁	令和4年1月			
	7		キャンプ研究(研究論文	·)	第25巻	25頁~34頁	令和4年1月			
ンコミュニティ創成マインドに及ぼす 響	7		キャンプ研究(研究論文誌名	)	第25巻	25頁~34頁 初(始)頁~終頁				

その他	(「症化	列報告」、「実践	報告」、	「研究」	ノート」等区分を記	入)								
区分		題名			著者		誌	名	à	卷	初(始)	頁~終頁	発行年月	
実践報 告	おけるチ	イバスケットボー イームビルディン の実践を通して-	グの試	共	◎村上なおみ、伊原 美子、他3名	原久	大阪体育大学紀野	要(事例報告)	(事例報告) 第49巻 67頁~79		67頁~79頁	平成30年3月		
実践報 告	とした組 チームヒ たAction	ナッカー部新入部員を対象 た組織キャンプの実践 — ムビルディングを目的とし ion Socialization ienceの導入 — 共			<ul><li>◎髙橋宏斗、伊原が子、他2名</li></ul>	久美	キャンプ研究(実践報告) 第23巻				33頁~39頁		令和2年1月	
実践報 告		美践報古一人版件有人子   共   」   」   三山池二			<ul><li>◎徳田真彦、伊原り子、冨山浩三</li></ul>	<b></b> 人美	キャンプ研究()	ャンプ研究(実践報告) 第24巻				47頁~54頁		
実践報 告	大学生の	学部キャンプ実習における 生の自己開示の深さおよび こ対する意識と体験の評価 いて			◎伊原久美子、冨山 三、小林博隆、徳田 彦		大阪体育大学紀要(事例報告) 第52巻			61頁~72頁		令和3年3月		
実践報 告		禍における海洋スポーツ プ実習実施への取り組み 共		共	◎徳田真彦・久田 平・伊原久美子、他		大阪体育大学紀朝	要 (事例報告)	例報告) 第52巻		79頁~96頁		令和3年3月	
学会発表	₹ (「国際	祭学会」、「国内	対学会 (-	一般演題、	シンポジウム、課	題研究	こ、講演等」、「荷	研究会」等区分を	記入)				•	
区	分	年月			学会名			演題名			場所		発表者名	
国内(一	般演題)	平成30年6月	日本野夕	N教育学:	会 第21回大会		高校サッカー部の キャンプによる 変容				リンピック記念 総合センター 高橋宏ジ		+	
国内(一	般演題)	平成30年6月	6月 日本野外教育学会 第21回大会				大学野外実習における社会人基礎力の育 成要因の検討-全国10大学の調査結果か ら-			国立オリンピック記念 青少年総合センター		念徳田真彦	徳田真彦	
国内(一	般演題)	令和元年6月	日本野外教育学会 第22回大会			保護者から見た子どもの組織キャンプ参加・不参加の理由-大阪府I市の事例-			仙台大学		矢野達{	矢野達也		
国内(一	般演題)	令和元年6月	日本野外教育学会 第22回大会			雪上活動におけるストレスに関する研究 ー大学野外活動部員を対象として-			仙台大学		髙橋宏差	髙橋宏斗		
国内(一	般演題)	令和元年6月	日本野外教育学会 第22回大会			大学野外実習における社会人基礎力の育 成要因の検討Ⅱ			仙台大学 徳田真		爹			
国内(一	般演題)	令和2年11月	日本野外教育学会 第23回大会			大学生におけるキャンプカウンセラー活 動の継続動機に関する研究			関西学院大学    今村樹					
国内(一	般演題)	令和2年11月	日本野外教育学会 第23回大会			高校体育「スポーツV (野外活動)」の 授業実践における成果と課題 - 通常時間 割内での一年を通した取り組み -			関西学院大学		松本秀林	松本秀樹		
国内(一	般演題)	令和2年11月	日本野外教育学会 第23回大会			コロナ禍における大学野外実習の実施に 向けた取り組み-大阪体育大学の事例-			関西学院大学		徳田真原	徳田真彦		
国内(一	般演題)	令和2年11月	日本野夕	<b>小</b> 教育学:	会 第23回大会		関西における野外活動団体の広報に関す る研究			関西学院大学		矢野達ł	矢野達也	
国内(一;	般演題)	令和2年11月	日本野外教育学会 第23回大会				長野県の大学における夏季野外実習に関する悉皆調査-大学野外実習に関する悉 皆調査に向けた試行-			関西学院大学		福富優	福富優	
国内(一	般演題)	令和3年11月	日本野外教育学会 第24回大会				野外活動を企画・運営する大学生の困難 な体験に関する研究―野外活動部を事例 として―			2)		今村樹	今村樹	
国内(一	般演題)	令和3年11月	日本野外教育学会 第24回大会		保護者の視点から見た組織キャンプの製品としての要素に関する研究			明治大学(オンライン)		矢野達ł	矢野達也			
国内(一	般演題)	令和3年11月	日本野外教育学会 第24回大会			コロナ禍における大学夏季野外実習の実 態調査-2020年度の実施状況-			明治大学(オンライ ン)		福富優	福富優		
国内(一	般演題)	令和3年11月	日本野外教育学会 第24回大会			大学における夏季野外実習の実態調査- 2019年度の実施状況-			明治大学 (オンライン)		中丸信	中丸信吾		
		令和3年11月	日本野外教育学会 第24回大会						明治大学(オンライン) 青木康ン		太朗			
	に費等のE		I day Mr.											
		の他の助成金/タ				日产	Ħ		/Hou		#11月日	日1. 上2 也产	(抽目中の気を)	
区           科学研究	分中	基盤研究C	類		高等教育におけるシ		リック・スキルを		分担の別		期間 1~2024/3/3		(期間内の総額)	
	山共	金鉱ツ 九い			野外教育プログラム	ムの実	践	기1브		4017/3/	1 -2024/3/3	4, 420, 0		
特許	į	特許名称		発明	月者/出願人	出願	日/出願番号	公開番号		た場合 ⇒	公告・特	寺許番号	国	

Ⅲ 加入学会および	『社会における活動											
加入学会	間	内    容										
平成10年6月~現在		日本野外教育学	<u></u>									
		日本体育学会										
平成12年4月~現在 社会的活動		口个件月子云										
平成22年4月~現在		大阪府レクリエ	ーション	協会課程認定校選	車絡会 草	全事						
平成22年4月~現在		大阪府キャンプ協会専門委員 理事 (2020年度~現在)										
平成25年4月~現在		兵庫県立南但馬自然学校調査・研究委員会委員										
平成29年7月~現在		永楽ゆめの森公園及び熊取永楽墓苑指定管理者選定委員会委員長										
平成28年6月~現在		日本野外教育学会 理事										
平成30年4月~現在		独立行政法人国立青少年教育振興機構国立曽爾少年自然の家 施設業務運営委員会企画評価部会委員										
平成30年5月~現在		大阪体育学会 理事										
平成30年6月~現在		枚方市スポーツ推進審議会委員										
令和3年4月~現在		公益財団法人日本アウトワード・バウンド協会 理事										
令和3年4月~現在		文部科学省総合	教育政策	局地域学習推進調	果の体験活	<b>5動関連事業に係る技術審査委員</b>	会技術審査専門員	į				
令和3年6月~現在		大阪府青少年活	動財団	理事								
令和4年5月~現在		特定非営利活動法人ナック 理事										
IV 管理活動												
期 委員会活動	間				内	容						
2020年度		【学部】キャリア支援委員会、広報委員会、社会貢献センター委員会、カリキュラム委員会、教務委員会、研究委員会、図書館委員会 【大学院】広報委員会										
2021年度		【学部】キャリア支援委員会、社会貢献センター委員会、カリキュラムタスクフォース、カリキュラム委員会、FD委員会 【大学院】入試委員会										
2022年度	【学部】キャリア支援委員会、社会貢献センター委員会、カリキュラム委員会、FD委員会 【大学院】入試委員会											
特別プロジェクト活動		1										
V クラブ活動の推	<b>音導業績</b>				_							
1. 指導クラブ名	動 部 2. 役職				2009年~監督	3. 部員数	20 人					
4. 現場指導の頻度	(1) (1) (1)	E毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない										
5. 合宿指導	年間合宿回数:	5 回 延べ日数: 25 日										
6. クラブの競技力向上	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない											
7. クラブの教育及び部	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない											
8. 部員の就職指導への	② ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない											
9. 年間の引率公式大会	大会名    期間   場所											
				1部リーグ3位以	上の団体	・個人の戦績を記入して下さい。						
開催期間	大	会 名			成 績	場	所					
VI 賞罰(職務に関	日子の営罰)											
年 月	(19 <b>の貝削</b> )   受賞等機関	月名			内	容	備					
2011年	野外教育等						מוע					